



WHAT'S NEW

発行 新渡戸文化学園
新渡戸文化短期大学

※ホームページに掲載しています。

こどもパートナー資格認証講座を実施しました

7月30日(火)にこどもパートナー資格認証講座を実施しました。こどもパートナーは、教育支援人材認証協会がこどもをサポートする幅広い人材を育成するために進めている4つの認証資格のうち基礎となる資格です。本学からは生活学科食物栄養専攻の学生35名が受講しました。また、本年度初めて地域支援の一環として、近隣の方々から受講者を募集しました。結果、13名の申し込みがあり、計48名の講座となりました。子どもを取り巻く環境が悪化する中、子どもたちの活動を支援したいと考える人たちが集まり、熱心に講義を受けていました。資格認証されると協会からこどもパートナーパスポートが発行されます。生活学科児童生活専攻の学生は、カリキュラムに組み込まれているので、必要単位を修得することで資格取得ができます。



山崎健太さん 個人戦シングルス(テニス)全国3位入賞



8月5日(月)～8日(木)日本私立短期大学協会主催、第48回全国私立短期大学体育大会が行われました。8月5日(月)は東京体育館で各競技揃っての開会式が盛大に行われ、8月6日(火)～8月8日(木)は各会場に分かれて競技が行われました。テニスは小田原テニスガーデンで行われ、山崎健太さん(生活学科児童生活専攻1年)が個人戦シングルスで見事3位入賞を果たしました。

プレースタイルは、サーブ&ボレー。ボレーが何本も決まっていました。

大会後には、「来年は、是非優勝したいです!」との意気込みも聞かれ、今後の活躍が期待されます。



国立スポーツ科学センターに行ってきました

生活学科食物栄養専攻の学生は8月8日(木)、22日(木)の両日合わせて30名、日本のトップアスリートを支える国内最高峰の施設、国立スポーツ科学センターへ行ってきました。

スポーツに関する最先端の研究機関として設立され、スポーツ医学、スポーツ科学の研究室のほかトレーニング施設やレストラン、クリニックなどがありました。ここを利用できるのは日本代表クラスのトップアスリート。オリンピックや世界選手権、ワールドカップなど世界を相手に戦う選手の競技力向上のために、さまざまなフィールドが用意されていました。また、今回の見学の目的の一つは、アスリートの皆さんが利用されるレストランでのランチ。ビュッフェ方式のカフェテリアでは、アスリートの方々が選んだランチの栄養チェックシステムがあり、毎回の食事と栄養が管理されていました。栄養士の専門性の深さと広がりを感じた夏の日でした。



おもちゃインストラクター養成講座を開講しました



今年、おもちゃインストラクターを養成することができるおもちゃコンサルタントマスターの資格を持つ善本眞弓先生が就任したことを機に、本学においておもちゃインストラクター養成講座を開講しました。おもちゃインストラクターは、NPO法人日本グッド・トイ委員会が認定する資格で、子どもの成長・発達に合ったおもちゃ選びや遊び方、身近な素材で作るおもちゃの作り方や作り方の指導の仕方など、子どもとの遊びの専門家を育てることを目的としています。講座は、講義と実技の2つに分かれていま

した。最初におもちゃの話聞いてから、いよいよ実技です。

実際におもちゃを作ることで、おもちゃ作りの楽しさなどの工程が子どもたちにとって難しいところなのかを知ることができました。また、後半では、沢山の種類のおもちゃを使ったゲームを行いました。参加した人たちは、時間を忘れ童心に戻って高得点を目指し真剣な表情を見せていました。

